

7 アフターサービス

保証期間中は、保証規定に基づいて修理致します。保証書は、故障の修理時またはスペアリモコンの作成時等に必要となります。必要事項が記入されていることをご確認の上、大切に保管してください。また、保証期間後の修理については、販売店または取付店にご相談ください。

なお、移転等の理由により販売店または取付店と連絡が取れない場合は、下記の発売元までお問い合わせください。

アフターサービスのお問い合わせ窓口

発売元： 株式会社 シーディートレーディング

〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1

TEL 0263-81-1189 FAX 0263-84-0089

URL : <http://es89.com>

e-mail : info@cdt.jp

NEXTLIGHT ACE-US2109-01

保証書

製品名	NEXT LIGHT ACE	シリアル No.	
保証期間	お買い上げ日（西暦）	年 月	日より3年間
お客様	お名前 様 〒 ご住所 TEL. - - -		
販売店様	〒 印 TEL. - - -		

株式会社 サーキットデザイン

〒399-8303 長野県安曇野市穂高 7557-1

URL : <http://www.circuitdesign.jp>

取扱・取付説明書

双方向テレコントロールエンジンスター（イモビライザー付き車専用モデル 車種指定）

NEXT LIGHT ACE

はじめに

このたびは、双方向テレコントロールエンジンスターをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品は、自動車のエンジンコンディションを整えるためのウォーミングアップ、寒冷地での暖機運転、酷暑時での車内の冷房等をするために、遠隔操作によってエンジンのスタート／ストップ等を行う機器です。

ご使用の前に、この取扱・取付説明書をよくお読みの上、注意を守って正しくお使いください。



警告

- お客様ご自身での取り付けは危険ですので、取り付けはお買い求め店にご相談ください。
- 本製品を分解・改造しないでください。また、本来の目的以外のご使用は危険ですのでやめください。
- 排気ガスの充満しやすい場所及び公道でのエンジン始動は行わないでください。

注意事項の見方……2

使用上のご注意……2～6

1. エンジンスターの使い方……7

1. このように構成されています

各部のなまえ／リモコンとキーの準備／リモコンの正しい使い方

1

2. 動かしてみましょう

リモコンの操作とアンサーバックについて／エンジンを始動する／エンジン始動の確認をする／エンジンを止める／ドアをロック（施錠）する／ドアをアンロック（開錠）する／エンジン始動・停止の動作条件について／リモコンのエラー表示について

2

3. 便利な機能

インフォメーション／ドアタイマー／アフターアイドリング／オートライトキャンセル／スリープタイマー

3

4. 機能の設定

①初期設定／②アイドリング時間の設定／③ドアタイマーの設定／④アフターアイドリングの設定／⑤車種の設定

4

5. こんなときは（Q&A）

2. エンジンスターの取り付け方……29

取り付け上のご注意……30

1. 梱包内容

梱包内容／梱包内容の他に必要なもの

1

2. 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具／エレクトロタップでの分岐接続方法／接続の概念図（システム図）／接続先の信号一覧

2

3. 取り付け作業

取り付けの前に／①アンテナユニットの取り付け／②専用ハーネスの取り付け／③CN2ハーネスの接続／④イモビハーネスの接続／⑤ハーネス・アンテナケーブルの接続／⑥初期設定／⑦動作チェック／⑧配線セルフチェック／⑨リレーユニットの取り付け／⑩取り付け後の配線処理／⑪機能の設定／⑫設定のリセット／⑬リレーユニットのブザーンサバッパック表

3

4. 電池交換について

電池交換のしかた

4

5. 主な仕様

6. スペアリモコンについて

7. アフターサービス

CIRCUIT DESIGN, INC.

注意事項の見方

この「取扱・取付説明書」に書かれている注意事項は、製品を安全に正しく最良の状態でお使いいただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項の意味



取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負う危険が想定される内容、及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の意味



禁止事項を示しています。



しなければならないことを示しています。



本製品を安全に最良の状態でご使用いただくために必ずお読みください。



この取扱・取付説明書に関する注意事項

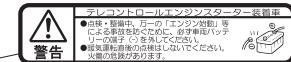
- ご使用になる前に本冊子を良くお読みになって正しくお使いください。
- お読みになった後は、この「取扱・取付説明書」を車検証入れ等に保管し、お使いになる方がいつでも見ることができるようにしてください。
- 本製品を別の車に取り付け直す場合は、「取扱・取付説明書」を同様に保管し、お使いになる方がいつでも見ができるようにしてください。また「警告ラベル」が無い場合は販売店より入手してください。
- 本製品を譲渡される場合は、「取扱・取付説明書」を一緒にお譲りください。また「警告ラベル」を販売店より入手して一緒にお譲りください。

ご利用にあたっての注意事項

- 本製品は、当社で適応としているイモビライザー付き車専用です。それ以外の車種には取り付けてできません。
- 取り付けは概念的な説明で確実に取り付けのできる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は保証の対象になりません。



- 本製品を分解・改造はしないでください。分解・改造をされた場合の保証はいたしません。また本来の目的以外のご使用は危険ですのでおやめください。
- 「警告ラベル」がエンジンルーム内に貼られていることを確認してください。もし、貼られていない場合は販売店または取付店に貼るようにお願いしてください。警告ラベルが無い状態で車両の点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。



「警告ラベル」



- 取り付けには当社製の車種別専用ハーネス（別売）が必要になります。販売店にご相談ください。それ以外のハーネスを取り付けた場合は本製品の保証の対象となりません。
- 本製品は、他社のターボタイマーまたはセキュリティシステム（車両メーカー純正を含む）等との併用はできません。
- 車両側の純正キレスエントリーシステムによるドアロック／アンロックは、エンジンスターターによるアイドリング中には作動しません。車両側の純正キレスエントリーを使用する場合は、エンジンスターターの「STOP」操作でエンジンを停止させてから操作をしてください。なお、本製品のリモコン操作によるドアロック／アンロックは、エンジンスターターによるアイドリング中も作動します。
- 取り付ける車種により使用できない機能があります。販売店、取付店にお問い合わせください。

使用時の注意事項



警告

屋内でエンジンを始動しない

- 車庫などの換気の悪い屋内では絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息の恐れがあります。



ボディーカバーを掛けたままエンジンを始動しない

- 車両にボディーカバーを掛けたまでは絶対にエンジンを始動しないでください。排気ガスにより中毒や窒息の恐れがあります。また、高熱の排気ガスによる火災の危険があります。



車内に人やペットを乗せたままでエンジンを始動しない

- 人（特にお子様）やペットが車内にいるときは絶対にエンジンを始動しないでください。エンジンの動いている車両を操作したりペットの思わず動きが重大事故につながる恐れがあります。

!**安全な整備を行うために**



- 車両の点検整備を行う際は、車両のバッテリー端子の(-)を外して行ってください。万が一、エンジンが始動した場合は重大事故につながる恐れがあります。
- 点検整備を依頼する場合は、エンジンスターター装着車であることをお伝えください。
- 安心して点検整備をするために、ボンネットセンサー（オプション）を装着することをお勧めします。



🚫 「N」レンジでは使用しない

- エンジンスターターは「P」レンジで使用してください。「N」レンジで使用すると、エンジンの振動で車両が動き出し重大事故につながる恐れがあります。



!**周囲の安全を確認する**

- 車両の周囲の安全を十分確認できる場所（人やペットが近くにいない）でご使用ください。
- 傾斜地に駐車したときは、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 車両の整備・点検時には、エンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。
- 公道ではエンジンスターターによるエンジン始動を行わないでください。



注意

🚫 暖気運転直後は運行前点検をしない



- 車の暖気運転を行った直後に運行前点検を行うと火傷の恐れがあります。エンジン停止後、5分以上経過してから火傷の恐れのないことを確認した上で運行前点検を行ってください。



🚫 迷惑なアイドリングはしない

- 環境保護のため、周りに迷惑をかけないためにも必要以上のアイドリングは行わないでください。



!**車両駐車時の注意事項**

- 「OFF」ポジション付きのライトスイッチ、ワイパースイッチ、オートアンテナ付きラジオ等はスイッチを「OFF」にしてください。
- パーキングブレーキをかけてください。
- シフトレバーを「P」にしてください。
- 全ての窓を閉め、全てのドアを施錠（ロック状態）してください。



!**極寒ではエンジンがかかりにくいこともあるので整備をする**

- 寒冷地ではエンジンのかかりにくいこともあります。車両のキースイッチによる始動操作でエンジンが始動するように車両を整備してください。



!**充電警告灯の点灯時はまず点検・整備を**

- 車両のキー操作でエンジンを始動した後に車両の充電警告灯（CHGランプ）が消えない場合は、エンジンスターターを使用せずに車両の点検整備をしてください。

リモコンに関する注意事項

警 告



!**リモコンは安全な場所に保管する**



- リモコンは小さなお子様の手の届かないところに保管してください。リチウム電池を飲み込んだり、アンテナ等で目を突いてけがをしたり、誤って操作をして重大な事故につながる恐れがあります。
- リモコンのリチウム電池は充電、ショート、分解、変形、加熱、火を入れる等はしないでください。発火、発熱、破裂の原因となります。また、電池を破棄する場合および保存する場合にはテープ等で絶縁してください。他の金属や電池と混ざると発火、破裂の原因となります。

幼児等が万一電池を飲み込んだ場合には直ちに医師とご相談下さい。



注 意



🚫 高温、多湿な場所に置かない

- リモコンは直射日光下の高温になる場所、湿気の多い場所、極端な温度になる場所（70°C以上、または-20°C以下）には置かないでください。リモコンを傷めたり、その後にご使用になると正常に作動しない場合があります。



🚫 落としたり、ぶつけない

- リモコンを落としたり、固いものにぶつけたり、アンテナに無理な力を加えないでください。故障の原因になります。



🚫 水に浸けない

- リモコンは簡易防滴構造になっていますが、水没等で水に浸かると内部まで浸水して故障の原因になる恐れがあります。



!**中性洗剤で汚れをふき取る**

- リモコンの汚れを落とすには、薄めた中性洗剤をしみこませた布で拭いてから乾拭きしてください。ベンジン、シンナー、化学そうきんは使用しないでください。汚れが落ちなくなったり傷を付ける恐れがあります。

道路交通法に関する注意

警 告



🚫 公道でのエンジンスターターの使用禁止

- 公道で車両のエンジンをかけたままで放置することは禁止されています。違反すると道路交通法違反になります。エンジンスターターは私有地のみでご使用ください。



🚫 条例によるアイドリングの禁止

- 地域により車両の停止中にみだりにエンジンを稼働させた場合、条例により罰則を受ける場合があります。エンジンスターターは地域の条例を確認してからご使用ください。



警 告

分解、改造または海外での使用禁止

- 本製品のリモコン及びリレーユニットは、電波法に基づく特定小電力無線機器として技術基準適合証明（利用に関して、お客様の免許申請等の手続きは不要）を受けています。必ず次のことを守ってお使いください。
- 分解・改造をしないでください。リモコンは電池交換のためにバッテリーカバーを外すことはできますが、それ以上の分解・改造は法律で禁止されています。
- 技術基準適合ラベルははがさないようにしてください。ラベルのないものは使用が禁止されています。
- この製品は外国の電波法には準じておりません。日本国内でご使用ください。
This product is for the use only in JAPAN.
- また、この製品は混信防止機能として識別符号自動送受信機能を搭載しており、他のシステムに不具合を与える場合があります。

空港施設・航空機内での使用禁止

- 空港施設内および周辺では本製品を使用しないでください。また、航空機内へ本製品（リモコン）を持ち込む場合は、動作をさせない（スイッチを押さない）ようにしてください。

付属のアンテナユニットを使用する

- 必ず付属のアンテナユニットを使用してください。付属品以外のアンテナを取り付けすると電波法違反になります。

その他の注意事項



注 意

オプション部品（別売）に関する注意事項

- 別売のオプション部品の使用方法、取り付け方法については、オプション部品に付属（同梱）の取付・取扱説明書をお読みください。

1 エンジンスターターの使い方

1. このように構成されています

各部のなまえ	8	1
リモコンとキーの準備	9	
リモコンの正しい使い方	10	

2. 動かしてみましょう

リモコンの操作とアンサーバックについて	11	2
エンジンを始動する	12	
エンジン始動の確認をする	13	3
エンジンを止める	13	
ドアをロック（施錠）する	14	
ドアをアンロック（開錠）する	14	
エンジン始動／停止の動作条件について	15	
リモコンのエラー表示について	16	4

3. 便利な機能

インフォメーション	17	5
ドアタイマー	17	
アフターアイドリング	18	
オートライトキャンセル	18	
スリープタイマー	18	

4. 機能の設定

① 初期設定	19	
② アイドリング時間の設定	20	
③ ドアタイマーの設定	22	
④ アフターアイドリングの設定	23	
⑤ 車種の設定	24	

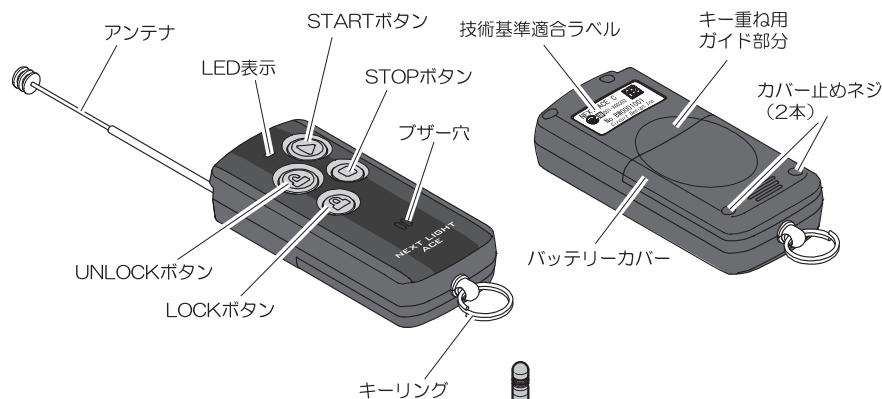
5. こんなときは(Q&A) 25

1 このように構成されています

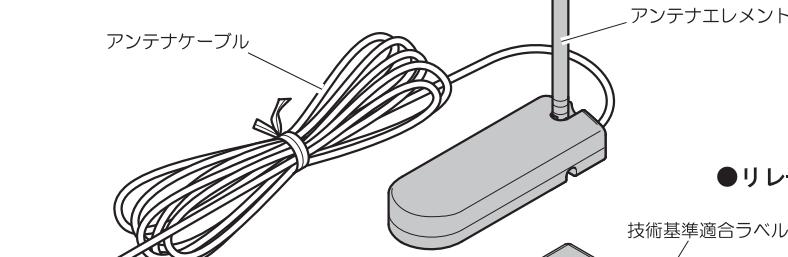
各部のなまえ

1

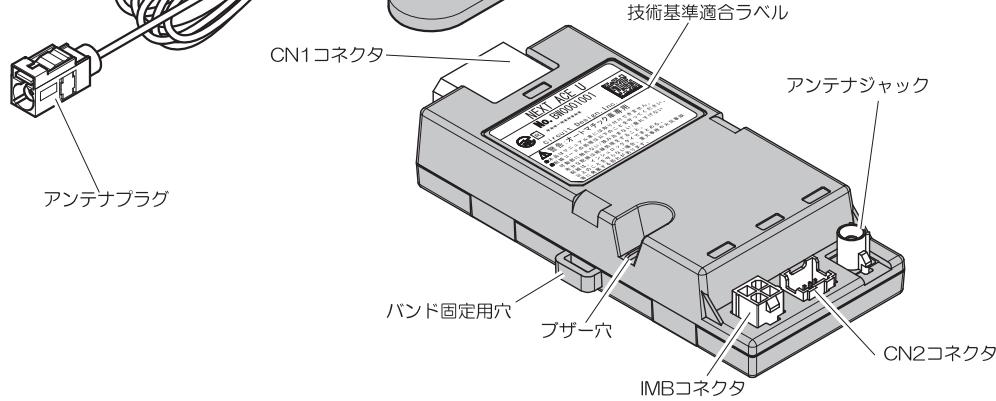
●リモコン



●アンテナユニット



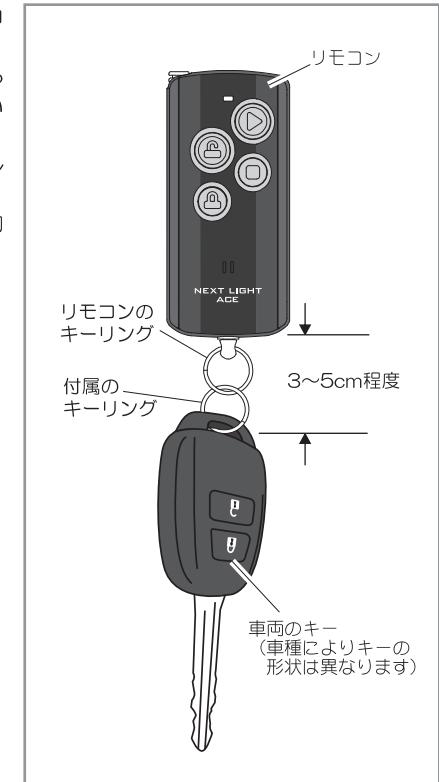
●リレーユニット



リモコンとキーの準備

1

- 車両のキーを付属のキーリングを使用してリモコンのキーリングへ取り付けしてください。
- 市販のキーリング等を使ってキーを取り付けする場合は、リモコンとキーの間隔が著しく離れないようにしてください。
- リモコンと車両のキーはキーリングに取り付けしたまま一緒に携帯してください。
- 車両のキーの紛失・破損等に対しての責任は一切負いかねますのでご了承ください。



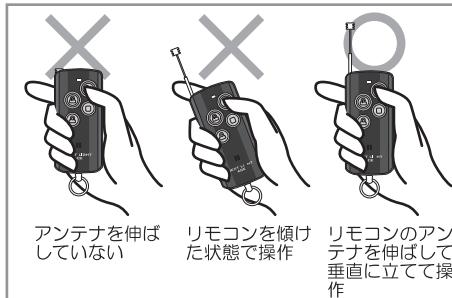
注意

- リモコンでエンジンを始動するためには車両のキーが必要です。
- リモコンは車両のキーを重ねた状態で使用しないとキーの認証ができないためエンジンの始動ができません

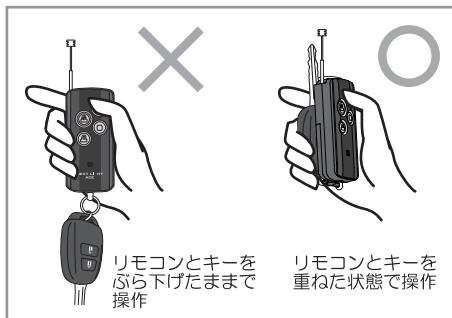
リモコンの正しい使い方

●安定したエンジン始動動作と通信距離を確保するために、リモコンを操作するときは次のことを守って使用してください。

①リモコンのアンテナを完全に伸ばし、垂直に立てて操作をしてください。



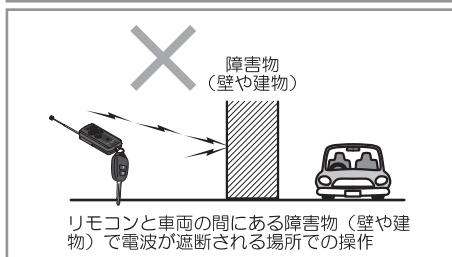
②リモコンでエンジンを始動するときは、キーを重ねた状態で操作をしてください。



③リモコンのアンテナを手で覆わないでください。また、アンテナに手を触れた状態でリモコンの操作をしないでください。



④リモコンはなるべく車両が見通せる場所で操作をしてください。



2 動かしてみましょう

リモコンの操作とアンサーバックについて

●リモコンの各ボタンを0.5秒以上押し続けることによってブザーが鳴り送信します。ボタンを連続で操作する場合は前の操作によるアンサーバック(ブザーとLED表示)後に次の操作を行ってください。

●送信操作後にリモコンはそれぞれの動作に対応したアンサーバックをブザーとLED表示で行います。（※1）



●リモコンがアンサーバックをせずにLED表示が青色で点灯／点滅する場合は電波環境が悪く通信が正常にできていません。もう一度操作を行ってください。（※2）



●アンサーバックが開始されるまでは電波が送受信されているのでアンテナは伸ばしたままにしておいてください。また、アンテナは十分に伸ばして高い場所で操作した方が電波到達距離が長くなります。



※1…明るい場所での使用時はLED表示（緑色、赤色、青色）が見えにくい場合がありますのでご了承ください。

※2…エラーの詳細は「リモコンのエラー表示について」（16ページ）を参照してください。

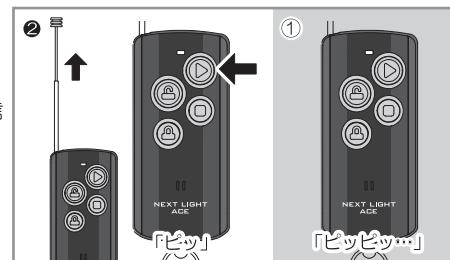
エンジンを始動する

①リモコンの裏側のガイド部分（凹部）へ車両のキーを重ねた状態にして手に持ってください。



②リモコンのアンテナを伸ばし「START」ボタンをブザーが「ピッ」と鳴るまで押します。
アンテナは伸ばしたままでお待ちください。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、ブザーが「ピッ ピッ …」とゆっくり鳴ります。



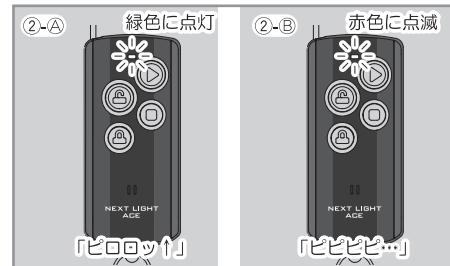
②続けてキーの認証状態（下記のⒶまたはⒷ）をそれぞれのブザー音とLED表示でアンサー バックします。

Ⓐ キーの認証成功

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点灯

Ⓑ キーの認証失敗（※1）

- ブザー音…ピビビビ…
- LED表示…赤色に点滅



※1 … 「キーの認証失敗」のアンサー バックが出たときはキーの認証ができないためエンジンの始動がで きません。もう一度「START」操作を行ってください。

建物の中、障害物が多い場所等で通信状態が悪い場合はキーの認証ができずに「認証失敗」が出やすくなっています。リモコンの「START」操作はできるだけ車両が見通せる場所で行うようにしてください。

③「キーの認証成功」のアンサー バックを確認してからアンテナを収納します。



●アンテナを伸ばすとき、または収納するときは、アンテナトップ（アンテナの先端の飾り部分）を持つて上下方向にまっすぐに動かしてください。無理な力で引っ張ったり左右に強く曲げると、アンテナが曲がったり破損する場合があります。

エンジン始動の確認をする

●リモコンの「START」操作で、エンジン始動（エンジンがかかっているか）、及びアイドリング残時間を探ることができます。

●エンジン始動の確認をする場合は、リモコンでエンジン始動操作後約1分以上経過してから行ってください。

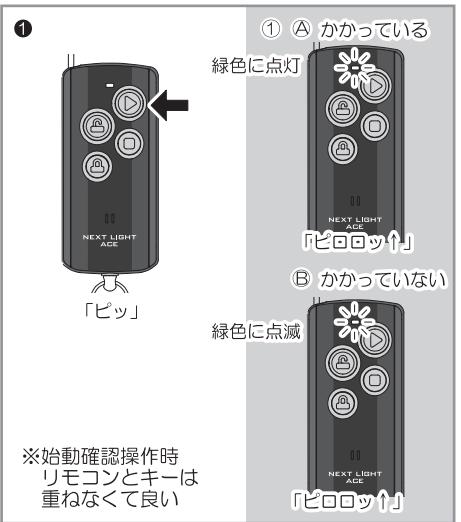
①「START」ボタンを「ピッ」と鳴るまで押します。

①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジン始動状態（下記のⒶまたはⒷ）をブザー音とLED表示でアンサー バックします。

Ⓐ エンジンがかかっているとき（エンジンスターターによるアイドリング状態のとき）

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点灯
- 続けてアイドリング残時間（あと何分間エンジンがかかっているか）をブザー一音でアンサー バックします。

アイドリング残時間	ブザー音
15分～30分	ピッ ピッ ピッ
5分～15分	ピッ ピッ
5分未満	ピッ



※始動確認操作時
リモコンとキーは
重ねなくて良い

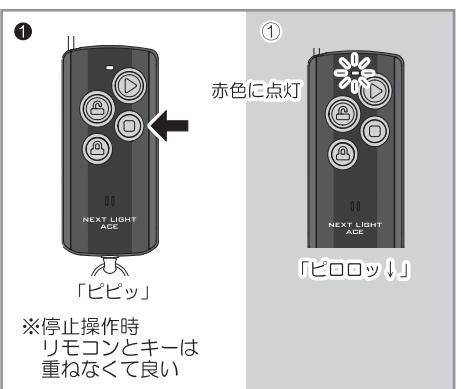
Ⓑ エンジンがまだかかっていないとき（エンジンをかけている最中のとき）

- ブザー音…ピロロッ↑
- LED表示…緑色に点滅

エンジンを止める

①「STOP」ボタンを「ピピッ」と鳴るまで押します。

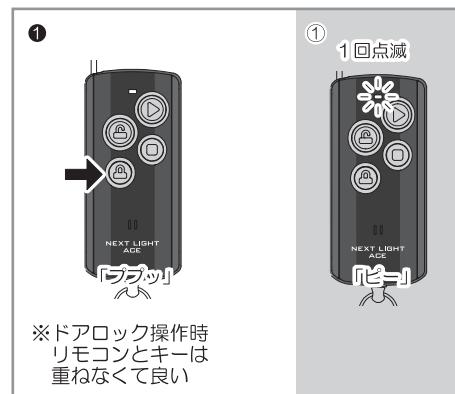
①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはエンジンが止まったことをブザー音（ピロロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサー バックします。



※停止操作時
リモコンとキーは
重ねなくて良い

ドアをロック（施錠）する

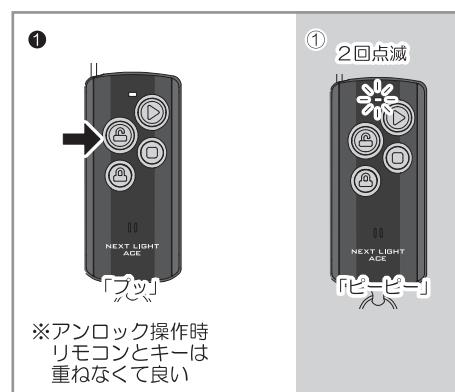
- ①「LOCK」ボタンをブザーが「ブッ」と鳴るまで押します。
①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはリレーユニットがドアロックの動作をしたことをブザー音（ピー）とLED表示（緑色が1回点滅）でアンサーバックします。



※ドアロック操作時
リモコンとキーは
重ねなくて良い

ドアをアンロック（開錠）する

- ①「UNLOCK」ボタンをブザーが「ブッ」と鳴るまで押します。
①アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンはリレーユニットがアンロックの動作をしたことをブザー音（ピーピー）とLED表示（緑色が2回点滅）でアンサーバックします。



※アンロック操作時
リモコンとキーは
重ねなくて良い



- ドアロック／アンロックの配線が接続されていない場合、ドアロック／アンロックは作動しません。
また、車両のキー操作によるアイドリング中は、ドアロック／アンロックは作動しません。
●配線の不備等によりリモコンがアンサーバックをしても車両側でドアロック／アンロックが作動しない場合があります。
●車両が半ドア（ドアが開いている）状態でもリモコンでドアロック操作を行うとドアロックは作動します。必ず車両の全てのドアが閉まっている状態でドアロック操作をしてください。
●車両の盗難発生警報装置（メーカー装着、またはディーラーオプション）は、本製品のリモコンのドアロック／アンロック操作ではセット／解除されません。盗難発生警報装置付きの車両は、純正キーレスエントリーを使用して警報をセットした際にリモコンでアンロック操作をしないでください。リモコンでアンロックすると車両の警報が作動します。

エンジン始動／停止の動作条件について

初期設定

- 取り付け直後、またはリレーユニットの電源が切られた場合（バッテリーを外したとき等）は、「初期設定」（19ページ）を行わないとエンジンスターでエンジン始動はできません。

エンジン始動の条件（安全機構）

- 次の条件が全て満たされるとエンジンは始動します。

1. 運転席ドアが閉じている。（ドア検出配線が接続されている車両）
2. ボンネットが閉じている。（ボンネットセンサー（別売のオプション部品）が取り付けされている車両）
3. フットブレーキが踏まれていない。

STOP操作以外のエンジンの停止

- アイドリングタイマーにより20分（アイドリング時間を変更した場合は10分または30分）経過するとエンジンは自動的に停止します。

- 安全機構が作動するとエンジンは自動的に停止します。

1. 運転席ドアを開ける。
ドア検出配線が接続されている車両はドアタイマーが20秒間作動後にエンジンが止まります。
2. ボンネットを開ける。
ボンネットセンサー（別売のオプション部品）が取り付けされている車両はエンジンが止まります。
3. フットブレーキを踏む。

エンストリトライ（再始動）

- 1回目の始動動作でエンジンがかからなかったり始動して30秒以内にエンジンが止まってしまった場合は自動的に最大2回まで再始動を行います。

リモコンのエラー表示について

●次のような場合は送信操作後にLED表示が点灯／点滅してエラーになります。

① リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）まで電波が届かないとき、またはアンテナユニットから送り返された信号をリモコンが受信できずアンサーバックできないとき。

- ブー音が出てLED表示が青色で点滅します。
- 電波到達エリア外です。場所を変えて、もう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになってもアンテナユニット（車両側）が電波を受信している場合は車両側は作動（エンジンの始動等）します。

② リモコンで「START」操作をしても安全機構が作動してエンジン始動できないとき。

- ブー音が出てLED表示が赤色で点滅します。
- 安全機構（エンジン始動の条件）が満たされるように車両側を点検してください。

●初期設定（19ページ）をしていない場合と同じエラーになります。

③ リモコンで送信操作をしても電波を送信できないとき。

- ブー音（3秒間）が出てLED表示が青色に点灯します。
- 電波法の規定によりリモコンを使用するエリア周辺でリモコンで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいて、もう一度操作をしてください。

●特定の場所で何度も送信操作をしても同じエラーが出来てしまう場合は、同一周波数の電波が周囲で常に発信されており電波が出せない状況になっています。時間を置いても状況が変わらない場合は、通信周波数の設定変更を行なう対応があります。販売店または取付店にお問い合わせください。

④ リモコンで送信してもアンテナユニット（車両側）がアンサーバックできないとき。

- ブー音が出てLED表示が青色で点滅します。
- 電波法の規定によりアンテナユニット（車両側）のエリア周辺でアンテナユニットで使用する電波の周波数帯に近い電波が発信されている場合、リモコンとアンテナユニット間の送受信が制限され電波を出すことができなくなります。しばらく時間をおいて、もう一度操作をしてください。
- リモコンでエラーになってもアンテナユニット（車両側）が電波を受信できている場合は車両側は作動（エンジンの始動等）します。

⑤ キースイッチ操作で車両のIG電源が「ON」になっているとき。

- ブー音が出てLED表示が赤色で点滅します。
- 車両のエンジンキーを「OFF」にして抜き、もう一度操作をしてください。



③ 便利な機能

インフォメーション（電波到達エリアの確認）

●車両のエンジンが停止しているとき（駐車中）にリモコンで「STOP」操作を行うと、電波到達エリア（車両まで電波が届くかどうか）の確認をすることができます。

インフォメーション機能の使い方

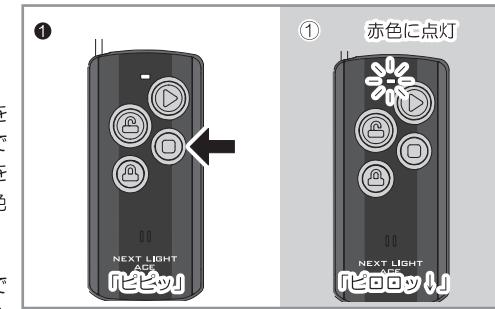
① リモコンのアンテナを伸ばし、「STOP」操作を行います。

① アンテナユニット（車両側）からの信号を受信すると、リモコンは電波到達エリアであること（エンジン停止中であること）をブザー音（ピロロッ↓）とLED表示（赤色に点灯）でアンサーバックします。

■ アンサーバックが無くLED表示が青色で点滅する場合は、電波到達エリア外のためリモコンで操作をしても車両側は基本的に作動しません。

■ インフォメーション機能により電波到達エリア内の場合でも「START」操作をした時に「キーの認証失敗」のアンサーバックが出てエンジンの始動ができないことがあります。

■ 電波到達エリアの確認は通信できる距離の目安としてご利用ください。



ドアタイマー

●エンジンスターターによるアイドリング中にドアを開けてから20秒間アイドリングを継続する機能です。20秒間のアイドリング中にキーシリンダーへキーを挿して「ON」に回せばエンジンを止めることなくそのまま走行できます。

●設定により、ドアタイマー機能を「使用する」、「使用しない」を選択できます。
(22ページ)：出荷時は「使用する」

■ ドアタイマー作動中はリレーユニットのブザーから作動音（ピッピッ…）が出ます。

■ ドア検出配線を接続していないとドアを開けてもアイドリングは最大20分間（アイドリング時間）を変更した場合は10分間または30分間）継続します。安全上問題がありますのでドア検出配線を接続していただくように取り付け店に依頼してください。

■ ドアタイマー作動中、キーシリンダーへキーを挿して「ON」に回す前にリモコンで「STOP」操作をしたとき、または安全機構が働いた（ボンネットを開けた、フットブレーキが踏まれた）ときエンジンは停止します。

アフターイドリング

- 走行後のアフターイドリングを行う機能です。
- 走行した時間によりアフターイドリングの時間は自動的にセットされます。（走行時間15分未満：アフターイドリングの時間30秒間／30分未満：60秒間／45分未満：90秒間／45分以上：120秒間）
- 設定により、アフターイドリング機能を「使用する」、「使用しない」を選択できます。（23ページ）
：出荷時は「使用しない」
- アフターイドリング作動中はリレーユニットのブザーから作動音（ピッピッ…）がおきます。
- アフターイドリング作動中にリモコンで「STOP」操作をしたとき、または安全機構が働いた（フットブレーキが踏まれた）ときエンジンは停止します。
- 取り付ける車種により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。

3

オートライトキャンセル

- 車両のオートライト機能（ライトスイッチが「AUTO」のポジション）を使用してエンジンスターでアイドリング中にエンジンが停止した場合、自動的にヘッドライト及びポジションランプ等を消灯させる機能です。
- ドア検出配線を接続していないと、この機能は利用できません。配線が行われていない場合はオートライトキャンセル機能は作動しないため、エンジンが停止しても夜間等ではヘッドライトが消灯せずにバッテリー上がりを起こす恐れがあります。配線の接続は取り付け店に依頼してください。
- 取り付ける車種または車両側の装備等により、この機能が使用できない場合があります。販売店または取り付け店にご確認ください。

スリープタイマー

- 30日以上リモコンの「START」操作をせずにエンジンスターを使用しなかったり車両のキースイッチを「ON」にすることが無かった場合、車両バッテリーの負担を軽減するためにリレーユニットはスリープ（節電）モードに入ります。
- スリープモード中は受信動作を停止するためリモコンで送信操作をしても車両側は作動しません。
- スリープモードから通常使用状態に復帰させるときは車両のキースイッチ操作で3秒以上IG電源を「ON」にしてください。

4 機能の設定

- 各機能はリモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はそれぞれの設定手順に従って必要に応じて行ってください。
- 各機能の設定完了後は機能が設定したとおりに作動することを必ず確認してください。
- 設定手順の間違いなどで機能が正しく作動しなかった場合は設定のリセット（43ページ）を行い全ての設定を工場出荷時の状態に戻してから、もう一度各機能の設定を行ってください。
- 設定手順のブザーはリレーユニットから出るブザー音です。

1 初期設定

- 取り付け直後、またはリレーユニットの電源が切られた場合（車両のバッテリーを外したとき等）は、この設定をしないとエンジンスターでエンジン始動はできません。

1 キースイッチを「ON」にする

——受付時間10秒以内——

2 「STOP」ボタンを押す

- 送信音：「ピピッ」
- ブザー：「ピーピーピー…」

——受付時間10秒以内——

3 フットブレーキを踏む

- ブザー：2秒後に「ブブブ…」
- 踏んでから3秒後——

4 フットブレーキを放す

- ブザー：「ピピー」
- 初期設定完了——

5 キースイッチを「OFF」にする



2 アイドリング時間の設定 (出荷時 : 20分)

●エンジンスターターのアイドリングタイマー(暖機)時間を「10分」、「20分」、「30分」のいずれかに設定できます。

「10分」の手順

1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
---受付時間10秒以内---

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---

4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピー」
---「10分」に設定完了---

5 キースイッチを「OFF」にする



「20分」の手順

1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
---受付時間10秒以内---

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---

4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ピー ピー」
---「20分」に設定完了---

5 キースイッチを「OFF」にする



「30分」の手順

1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---

2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
---受付時間10秒以内---

3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---

4 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「ピー ピー ピー」
---「30分」に設定完了---

5 キースイッチを「OFF」にする

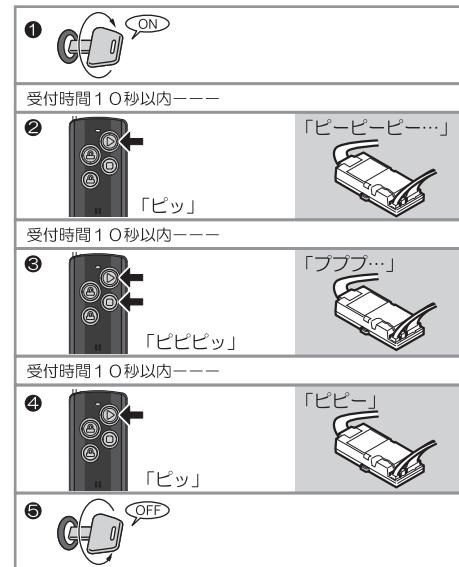


③ ドアタイマーの設定（出荷時：使用する）

●ドアタイマー機能を「使用する」、「使用しない」を設定できます。

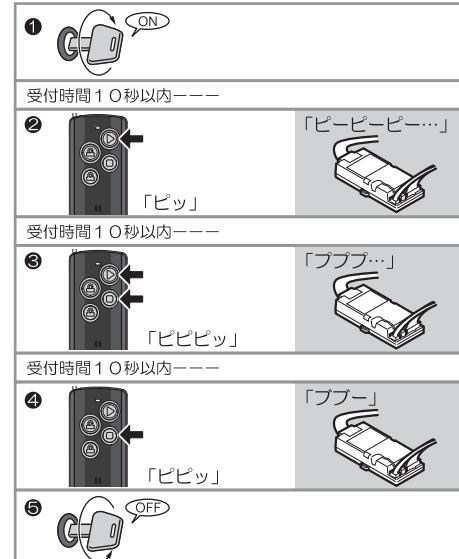
「使用する」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビピー」
---「使用する」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「使用しない」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ビビピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブー」
---「使用しない」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする

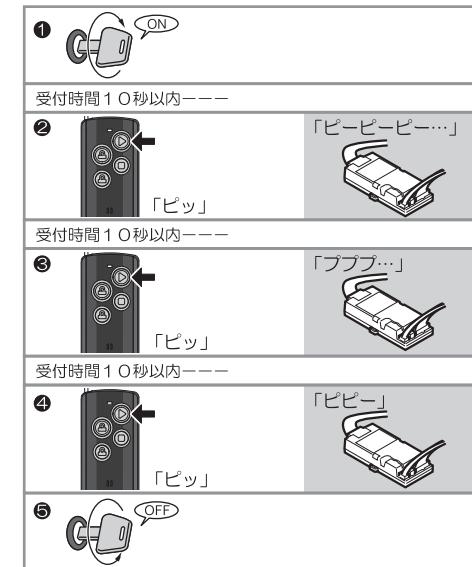


④ アフターアイドリングの設定（出荷時：使用しない）

●アフターアイドリング機能を「使用する」、「使用しない」を設定できます。

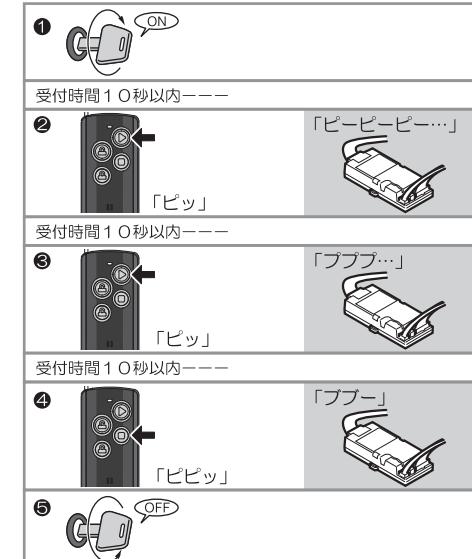
「使用する」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビピー」
---「使用する」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「使用しない」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ビーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ビピッ」
→ブザー：「ブブー」
---「使用しない」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする

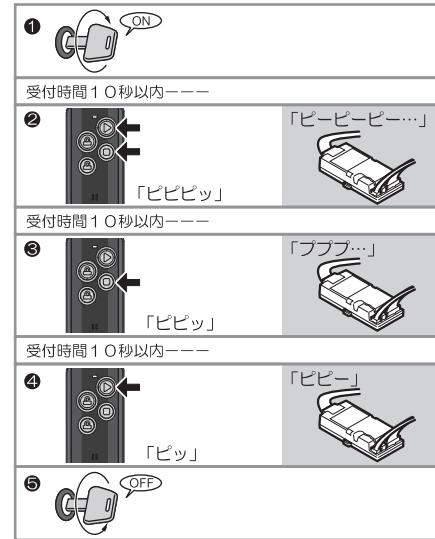


6 車種の設定（出荷時：ガソリン車）

- この設定については車両に対する専門知識が必要なため必ず取り付け店にご相談ください。
- 取り付ける車種により必要に応じて「ガソリン車」、「ディーゼル車」を設定できます。
- 始動前のグロータイムが長く必要な場合、または始動後に車両のチャージランプ消灯までに時間がかかる車種は「ディーゼル車」に設定してください。

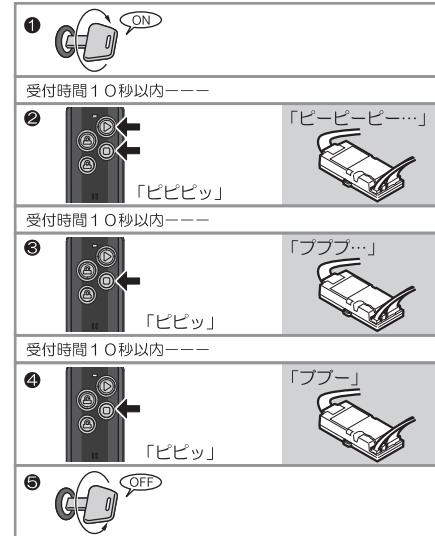
「ガソリン車」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「START」ボタンを押す
→送信音：「ピッ」
→ブザー：「ピピー」
---「ガソリン車」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



「ディーゼル車」の手順

- 1 キースイッチを「ON」にする
---受付時間10秒以内---
- 2 「START」「STOP」ボタンを同時に押す
→送信音：「ピピピッ」
→ブザー：「ピーピーピー…」
---受付時間10秒以内---
- 3 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブブ…」
---受付時間10秒以内---
- 4 「STOP」ボタンを押す
→送信音：「ピピッ」
→ブザー：「ブブー」
---「ディーゼル車」に設定完了---
- 5 キースイッチを「OFF」にする



- 「ディーゼル車」に設定すると、始動前のグロータイムは7秒間（ガソリン車：5秒間）、始動後の始動判断待機時間は30秒間（ガソリン車：15秒間）になります。

5 こんなときは（Q&A）

リモコン操作関係

Q

リモコンの操作距離が短くなった。

A

- ①リモコンのアンテナを十分伸ばして操作していますか？
●リモコンを操作してアンサーバックが表示されるまでアンテナを伸ばしてください。
- ②電池が消耗していませんか？
●新しい電池（CR2450×1個）と交換してください。（45ページ）
- ③周囲の電波環境が悪いのでは？
●しばらく時間をおくか場所を変えて、もう一度操作をしてください。

エンジン始動関係

Q

リモコンの「START」操作をしてもエンジンがかからない。

A

- ①キーの認証ができていないのでは？
●「START」操作後「キーの認証失敗」のアンサーバックが出たときは、キーの認証ができないためエンジンの始動ができません。（12ページ）
- リモコンでエンジンを始動するときはキーを重ねた状態で「START」操作をしてください。（10ページ）
- ②車両のバッテリー端子を外したことがありますか？
●「START」操作後リレーユニットのブザーが「ブーブ」と鳴ったら、「初期設定」を行ってください。（19ページ）
- ③エンジン始動の条件（安全機構）は満たされていますか？
●始動条件（安全機構）が満たされているか確認してください。（15ページ）

- ④ 車両のIG電源が「ON」になっていませんか？
●キースイッチでIG電源を「OFF」にしてください。
- ⑤ エンジンの始動性が悪くなっていますか？
●車両のキースイッチで始動してもエンジンのかかりが悪い場合は、車両の整備をした上で取り付け店にご相談ください。
- ⑥ 車両のバッテリーが弱っていますか？
●バッテリーが弱っていたら、充電または交換をしてください。
- ⑦ 「リモコンの操作距離が短くなった」(25ページ) の項目を確認してください。

Q

リモコンの「STOP」操作をしてもエンジンが止まらない。

A

- ① 車両のキースイッチでエンジンを始動していませんか？
●キースイッチでエンジンを止めてください。
- ② 「リモコンの操作距離が短くなった」(25ページ) の項目を確認してください。

Q

エンジンは始動するがすぐに停止してしまう。

A

- ① 車両のバッテリーが弱っていますか？
●バッテリーが弱っていたら、充電または交換をしてください。
- ② エンジン始動検出ができていません。
●車両側への配線が必要になる場合があります。取り付け店に依頼してください。

各機能関係

Q

各機能が使用できません。

A

- ① 機能の設定はされていますか？
●使用する機能の設定を行ってください。(20~24ページ)
- ② 必要な配線はされていますか？
●使用する機能により車両側への配線が必要です。取り付け店に依頼してください。

ドアロック／アンロック関係

Q

リモコンで操作をしてもドアロック／アンロックができない。

A

- ① ドアロック／アンロックの配線はされていますか？
●ドアロック／アンロック機能を使用する場合は、車両側への配線（ドアロック／アンロック線の接続）が必要です。取り付け店に依頼してください。
- ② 車両のIG電源が「ON」になっていませんか？
●キースイッチでIG電源を「OFF」にしてください。

その他（全般）

Q

リモコンを操作してもエラーになり車両側が作動しない。

A

- 「リモコンのエラー表示について」(16ページ) を参照してエラーの内容を確認してください。

Q

車両のバッテリーを外した。

A

- 「初期設定」を行ってください。(19ページ)

5

Q

リモコンを紛失（破損）してしまった。リモコンを新しくしたい。

A

- スペアリモコンを有償で注文できます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認して取り付け店または販売店に注文してください。
- ただし、スペアリモコンを使用する場合には今までの古いリモコンは使えなくなります。（1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです）

2 エンジンスターターの取り付け方

1.梱包内容

梱包内容	31
梱包内容の他に必要なもの	31

2.取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具	32
エレクトロタップでの分岐接続方法	32
接続の概念図（システム図）	33
接続先の信号一覧	32

3.取り付け作業

取り付けの前に	34
①アンテナユニットの取り付け	34
②専用ハーネスの取り付け	35
③CN2ハーネスの接続	36
④イモビハーネスの接続	37
⑤ハーネス・アンテナケーブルの接続	38
⑥初期設定	38
⑦動作チェック	39
⑧配線セルフチェック	40
⑨リレーユニットの取り付け	42
⑩取り付け後の配線処理	42
⑪機能の設定	43
⑫設定のリセット	43
⑬リレーユニットのブザーアンサーバック表	44

1

4.電池交換について

電池交換のしかた	45
----------	----

5.主な仕様

2

6.スペアリモコンについて

3

7.アフターサービス

4

5

6

7

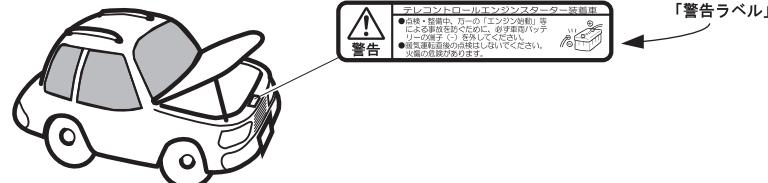
取り付け上のご注意

本製品を安全に、最良の状態でご使用いただくために、取り付け前に必ずお読みください。



警告

- 本製品は後付けの性格上、車両内の重要な配線部分に接続するようになっています。誤配線、配線省略、設定間違い、リレーユニットの固定不徹底、配線の後処理の不徹底等は重大な事故を起こす原因となりますので、取り付け説明に従って注意を良く守り、一つ一つ接続先を確認しながら作業を進めてください。
- 作業終了後は実際に操作して動作確認をしてください。
車両が安全な場所にあること、周囲に人がいないことを確かめ（特に車両の前後、ボンネット内で作業をしていると危険）、実際にリモコンを操作して動作チェックをしてください。また、正常に動作しない今までのご使用や、お客様への引き渡しはしないでください。
- 取り付け終了後は本冊子の保証書欄（最終ページ）に販売店名、販売日、シリアルNo.を記入してから、本冊子をお客様にお渡しください。
- 付属の「警告ラベル」を、エンジンルーム内の良く見え高温にならない場所に、油やほこりをよく拭き取ってから貼ってください。本製品を取り付ける際に「警告ラベル」がない場合は、販売店または取扱店より入手して貼るようにしてください。



- 「警告ラベル」が無い状態で点検整備をした場合、事故を起こす危険があります。



警告

取り付けにあたって知っておきたい注意事項

- 取り付けは、概念的な説明で確実に取り付けができる、専門の知識を持った技術者が行うようにしてください。お客様ご自身で取り付けた場合は、保証の対象なりません。
- 本製品に関する一般的な注意事項は、「使用上のご注意」（2~6ページ）に記載されています。取り付け前に必ずお読みください。

① 梱包内容

梱包内容

品名	数量	品名	数量
リモコン	1	CN2ハーネス（10極）	1
リレーユニット	1	イモビハーネス（4極）	1
アンテナユニット	1	エレクトロタップ	9
両面テープ（リレーユニット用）	1	束線バンド	10
警告ラベル	1	キーリング（リモコン用）	1
バンド（リレーユニット用）	1	取扱・取付説明書（本書）	1

梱包内容の他に必要なもの

- 以下の部品及び車種別取付資料は、販売店にお問い合わせいただくかインターネットのホームページ（最終ページ）で確認していただき必要なものを準備してください。

1. 専用ハーネス（必ず用意する）

- 専用ハーネスは取り付ける車種により品番が異なります。

2. 主なオプション部品（必要に応じて用意する）

ボンネットセンサーII（EP171）

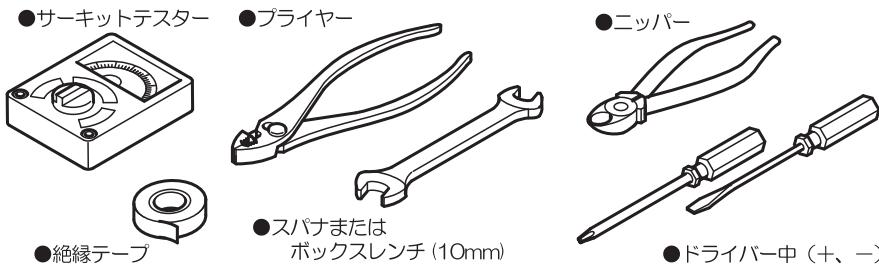
- エンジン始動条件の安全機構で「ボンネット開」を検出する場合に必要です。
- 車両の点検整備時の安全を確保するために取り付けをおすすめしています。

3. 車種別取付資料（必ず用意する）

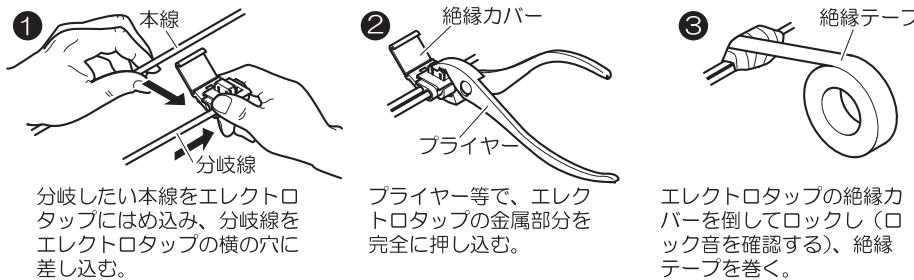
- 取り付ける車種別に専用に作成された取り付け資料です。

2 取り付け前の準備

揃えておきたい主な工具



エレクトロタップでの分岐接続方法

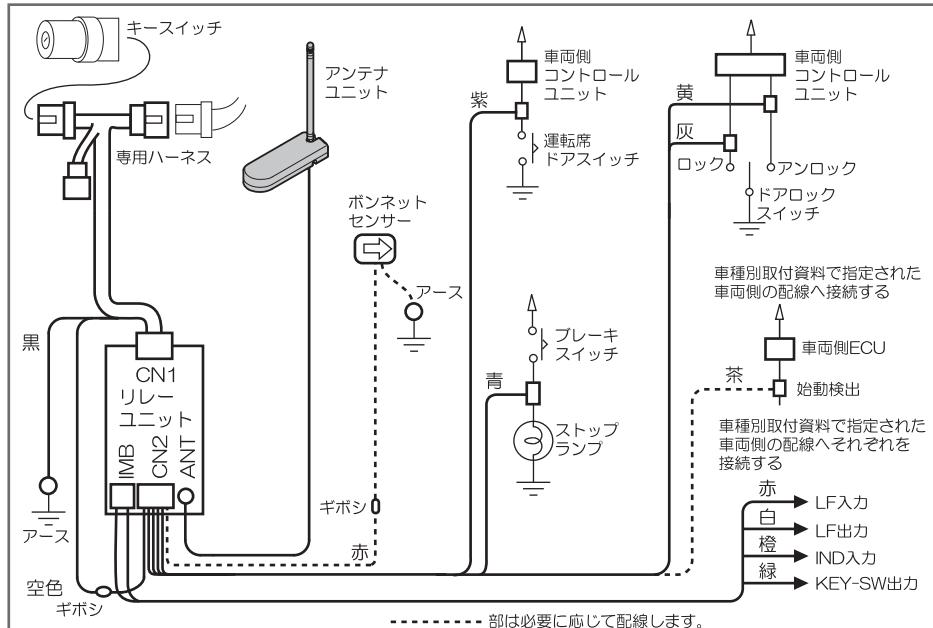


接続先の信号一覧

● サーキットテスターで信号の電圧を確認してください。

端子No.	線色	接続先	接続先の信号			備考
①	茶	始動検出	車種別取付資料で指定された車両側の配線へ接続してください			車種別取付資料で指示がある車種は接続する。
②		ポンネットセンサー(オプション)	ポンネット開 → アースと導通	ポンネット閉 → アースと非導通		ポンネットセンサー(オプション)に付属の取扱説明書を参照して、オプションに付属のギボシ付き赤色線をCN2の2番端子へ差し込み接続する。
④	黄	アンロック	何もしないとき → 12V	アンロックしたとき → 0V		車種により何もしないときの電圧は数Vの場合があります。
⑥	空色	CN1	専用ハーネスの「空色線」のギボシへ接続してください			
⑧	紫	ドア	運転席ドア 開 → 0V	運転席ドア 閉 → 12V		車種により運転席ドア開/閉の電圧は数Vの場合があります。
⑨	灰	ロック	何もしないとき → 12V	ロックしたとき → 0V		車種により何もしないときの電圧は数Vの場合があります。
⑩	青	ブレーキ検出	何もしないとき → 0V	ブレーキを踏んだとき → 12V		

接続の概念図(システム図)



③ 取り付け作業

- 車両のバッテリー端子の（-）を外してから作業を行ってください。
- 取り付ける車両ごとに異なる配線の接続先・取り付け上の注意事項等は、必ず「車種別取付資料」を参照してください。本説明書では一般的な説明と補足説明にとどめます。

取り付けの前に

あらかじめリレーユニットの取り付け場所を決めてください。



警告

- リレーユニットは車室内に設置し、取り付け場所は高温（70°C以上）とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所にしてください。
- 各ハーネス及びアンテナケーブルは、リレーユニットの取り付け場所を中心取り回して接続してください。

① アンテナユニットの取り付け

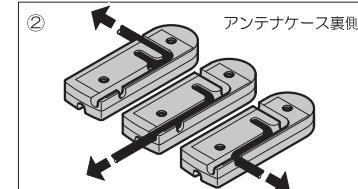
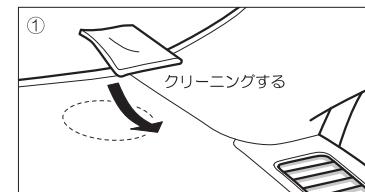
- アンテナユニットは運転席側ダッシュボードサイドの両面テープで確実に固定できる平らな面に取り付けしてください。



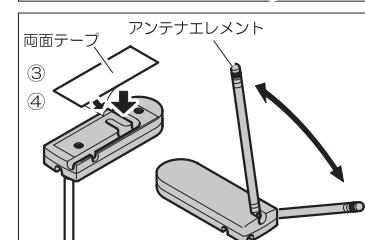
警告

- アンテナユニットを取り付ける前に取り付ける場所の油やほこりをきれいに拭き取って、容易に剥がれないように貼ってください。剥がれ落ちると運転に支障をきたす恐れがあります。
- アンテナユニットは視界の妨げにならない位置に設置してください。

1 アンテナユニットを取り付ける場所を決め、取り付ける場所をクリーニングする（汚れや油をきれいに拭き取る）



2 アンテナケーブルの引き出し方向を決め、アンテナケース裏側の溝にしっかり押し込み整形する

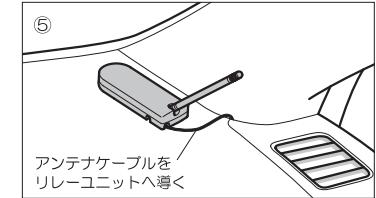


3 両面テープのセパレータを取り、ケース裏側の枠に合わせて貼り付ける

4 両面テープのセパレータを取り、車両側の取り付け場所へ貼り付けして、アンテナエレメントの角度を調整する（※1）

5 アンテナケーブルをリレーユニット取り付け場所へ導く

※1 両面テープを貼り付ける際は周囲の温度が20°C以上の環境で作業をしてください。低温環境では両面テープの接着が弱くなり剥がれ落ちる場合があります。

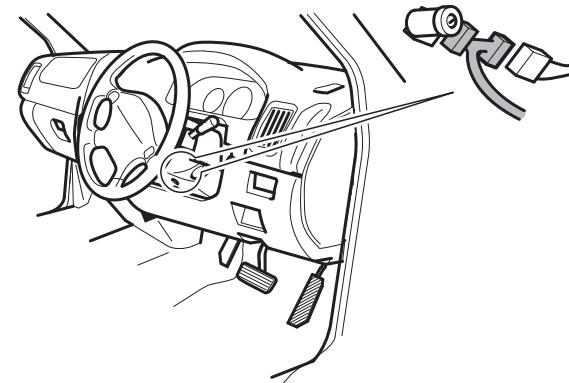


② 専用ハーネスの取り付け

- それぞれのカプラ及び配線の接続先は、必ず取り付けする車両の車種別取付資料を参照して指定されたところへ接続してください。

① 割り込みカプラの接続

- コラムカバーを外してキーシリンダから直接出ているコネクタへ割り込み接続する。



② アースの接続

車体に直接締めてある（塗装されていない車体アース）ボルトまたはネジに共締めする。

- アース線の推奨固定場所は車両により車種別取付資料へ記載してあるので参照してください。

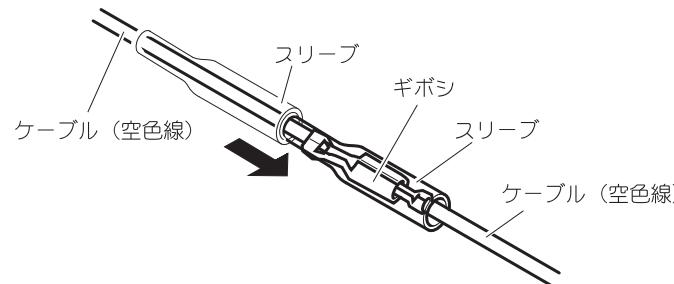
③ CN2ハーネスの接続

① ギボシ（空色）の接続

必ず接続する。

- この配線はエンジンスターターによるアイドリング中に誤って車両のキースイッチを「START」に回してしまっても、セルモーターへの電源をカットしてセルモーターの破損を防止するために接続が必要です。
- 専用ハーネスにギボシ付きの空色線が無い場合は、ケーブルに付属しているスリーブをギボシにかぶせて絶縁処理をしてください。

- ①専用ハーネスとCN2の空色線のギボシを確実に接続する。
- ②接続後ケーブルに付属しているスリーブをギボシにかぶせて絶縁処理をする。



② ドア（紫色）の配線

必ず配線する。

- 車種別取付資料で指示している「運転席ドア」配線へ接続してください。
- 配線をしないとドアの開閉検出ができません。安全のために必ず配線してください。
また、配線をしないとドアタイマー機能とオートライトキャンセル機能が利用できません。
- 配線をしない場合でもエンジン始動はできます。

③ 始動検出（茶色）の配線

車種別取付資料で「必ず配線」の指示がある車種は配線する。

- 配線をしないとエンジンの始動判断ができないため、エンジンは始動してもしばらくすると停止してしまいアイドリングを継続しません。

必要に応じて配線する。

- 始動不具合車（下記の状態になる場合）は配線してください。

- ①セルモーターを駆動しエンジンは始動するが、しばらくすると停止してしまう。
- ②不具合現象①を2回繰り返した後リセットする。
- ③セルモーターを駆動しエンジンが始動しないのに再始動を行わない。（エンジンがかからないのに車両の電源がONしたままの状態になる）

④ ブレーキ検出（青色）の配線

必ず配線する。

- 車種別取付資料で指示している「ブレーキ検出」配線へ接続してください。
- 配線をしないと初期設定(19ページ)ができません。

⑤ ボンネット（赤色）の配線

オプション部品のボンネットセンサーを取り付ける場合のみ配線する。

- ボンネットセンサーに付属のギボシ付き赤色線をCN2ハーネスの指定箇所（2番端子）へ差し込み接続してください。
- 取り付け及び配線方法はボンネットセンサーに付属の取付説明書を参照してください。

⑥ ドアロック（灰色）/アンロック（黄色）の配線

必ず配線する。

- 配線をしないとリモコンのLOCK/UNLOCK操作でドアロック/アンロックができません。

④ イモビハーネス配線の接続

必ず配線する。

- 配線をしないとリモコンのSTART操作でエンジン始動ができません。

- ① LF入力（赤色）/ LF出力（白色）の配線
 - 車種別取付資料で指示している「LF入力」/「LF出力」配線へそれぞれ接続してください。
- ② KEY-SW出力（緑色）の配線
 - 車種別取付資料で指示している「KEY-SW出力」配線へ接続してください。
- ③ IND入力（橙色）の配線
 - 車種別取付資料で指示している「IND入力」配線へ接続してください。

5 ハーネス・アンテナケーブルの接続

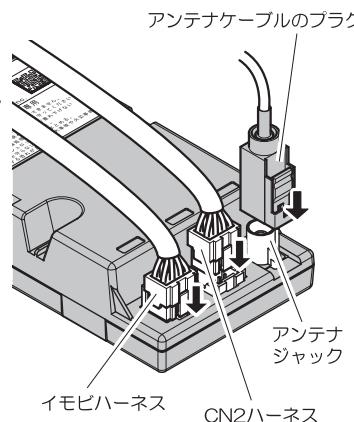
①各ハーネスの接続

- 専用ハーネスの7PコネクタをCN1へ、CN2ハーネスの10PコネクタをCN2へ、イモビハーネスの4PコネクタをIMBへ、それぞれ接続してください。

- CN1を接続してリレーユニットに電源が入ると「ピロロロッ」とブザー音が出ます。

②アンテナケーブルの接続

- アンテナケーブルのプラグをリレーユニットのジャックヘツメがロックするまで差し込み接続してください。



6 初期設定

- 接続が全て完了してからこの設定を行ってください。
- この設定をしないとエンジンスターによるエンジン始動ができません。
- 車両のバッテリーを外したとき、またはリレーユニットのCN1コネクタを外したときはこの設定が必要です。

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック音	備考
キースイッチ→「ON」			受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピーピーピー...	受付時間10秒以内
フットブレーキを踏む		2秒後ブブ...と音が変化	踏んでから3秒後
フットブレーキを放す		ピピー	初期設定完了
キースイッチ→「OFF」			

3

7 動作チェック

- 「初期設定」(38ページ)をしてから動作チェックを行ってください。
- リモコンは必ず車両のキーをキーリングに取り付けしてから使用してください。(9ページ)
- 「エンジンの始動」は必ずリモコンと車両のキーを重ねた状態で「START」操作を行い、エンジンが始動することを確認してください。(12ページ)
- 操作に関する詳細と注意事項は「動かしてみましょう」(11~16ページ)を参照してください。
- 動作チェックで正常に作動しないときは配線セルフチェック(40~41ページ)、及びリレーユニットのブザーアンサーバック表(44ページ)を参照して不具合箇所の特定と対処をしてください。

1. エンジンの始動

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	始動する	する

2. エンジンの始動の確認(始動してから30秒後)

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「START」	ピッ	アイドリング中	する

3. エンジンの停止

操作	送信音	エンジン	リモコンのアンサーバック
「STOP」	ピピッ	停止する	する

4. ドアロック

操作	送信音	ドア	リモコンのアンサーバック
「LOCK」	ブブッ	ロックする	する

5. アンロック

操作	送信音	ドア	リモコンのアンサーバック
「UNLOCK」	ブッ	アンロックする	する

8 配線セルフチェック

- 「動作チェック」(39ページ)でエンジンが正常に始動しない場合は、配線セルフチェックを行いイモビハーネスの各配線の接続不具合の特定することができます。
- 下記の手順に従い配線セルフチェックで不具合箇所を特定してから、「No」と判断された配線の接続が車種別取付資料で指定されたとおりに正しくできているかを点検してください。
- 配線セルフチェックはリレーユニットのブザー音が聞き取れる場所で行ってください。車両の運転席でドアを閉めた状態で作業を進めてください。

配線セルフチェックの手順

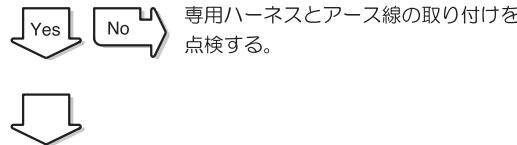
1. 準備・共通の注意事項

- ① まず車両のキースイッチからキーを抜き、リレーユニットのコネクタから全てのハーネスを抜いてください。
- ② 各配線チェックの途中で次の手順に進めず30秒以上経過した(タイムオーバーのブザー音「ブー ブー」が継続する)場合は、リモコンで「STOP」操作をしてください。
約3秒後にブザー音「ピロロロッ」または「ビピーッ」が出ます。
- 配線セルフチェックを再開する場合は「3. IND入力(橙色)配線のチェック(1)」の手順から進めてください。

2. 専用ハーネスとアース線のチェック

- ① リレーユニットへ全てのハーネスを接続してください。

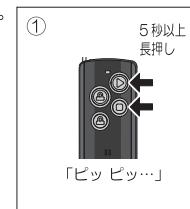
Q1: ブザー音「ピロロロッ」または「ビピーッ」が出ますか?



3. IND入力(橙色)配線のチェック(1)

- ① リモコンで「START」と「STOP」を同時に5秒以上長押ししてください。
※リモコンの送信音は「ビビビッ」の5秒後に「ピロロッ」と鳴ります。

Q2: ブザー音「ピッピッ...」(継続)が出ますか?

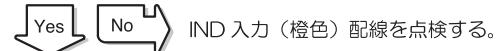


(41ページへ続く)

4. IND入力(橙色)配線のチェック(2)

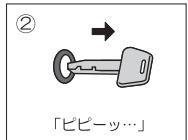
- ① 車両のキースイッチへキーを挿してください。

Q3: ブザー音が「ビビビビッ...」(継続)に変わりますか?



- ② 車両のキーを抜いてください。

- ・ブザー音が「ビピーッ(継続)」に変わります。



5. LF入力(赤色)配線のチェック

- ① 車両のキースイッチへキーを挿してください。

Q4: ブザー音が「ブブブ...」(継続)に変わりますか?



- ② 車両のキーを抜いてください。

- ・ブザー音が「ビピーッ(継続)」に変わります。



6. 配線セルフチェック完了

- ① リモコンで「STOP」操作をしてください。

- ・「ビピーッ(継続)」が止まり、ブザー音「ピーッ×3回」が出ます。



- ・約3秒後にブザー音「ピロロロッ」または「ビピーッ」が出て配線セルフチェック完了です。



- ・「初期設定」(38ページ)をしてから、「動作チェック」(39ページ)を行ってください。



7. LF出力(白色)とKEY-SW出力(緑色)配線のチェック

- ① 「動作チェック」で「START」操作をしてください。

Q5: エンジンが正常に始動しますか?

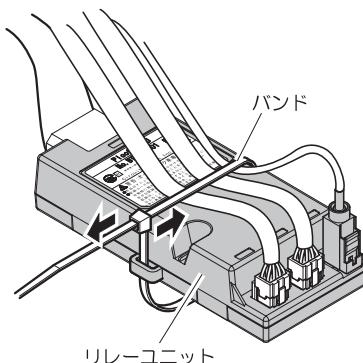


- ・配線のチェック完了です。

※上記で「No」の場合は「キーの認証失敗」の動作になります。

9 リレーユニットの取り付け

- ①動作チェックをして確実に動作することを確認してから取り付けを行う。
- ②リレーユニットの取り付けは付属のバンド、両面テープ等でゆるみ、がたつきのないように車両のハーネス等にしっかりと固定する。
- リレーユニットは車室内（高温：70°C以上とならない、水の浸入しない、結露しにくい場所）で、なるべくコネクタは下向きになるように取り付けてください。（電線を伝わって水が浸入するのと、ほこり等による接触不良を防止するため）



10 取り付け後の配線処理

- 配線コードは車両の可動部（チルトステアリング、アクセル、ブレーキ、パーキングブレーキ、アクセルリンク等）またはシャープエッジに触れたり、挟み込まれたり、垂れ下がらないように付属の束線バンド等で結束してください。また、絶縁処理の必要な配線は絶縁テープ等で処理をしてください。



- リレーユニットの取り付けが不完全な場合、落下等で運転に支障をきたし重大な事故につながるおそれがあります。
- リレーユニットは足下の水の跳ね返りや外部からの水の浸入にふれないように設置してください。内部に水が浸入すると動作不良等によって重大な事故につながるおそれがあります。（リレーユニットは防水対応ではありません。）
- 配線コードが挟み込まれたりすると場合によっては断線、ショートが起こり、リレーユニットまたは車両のシステムを破損したりアクセル、ブレーキが正常に操作できなくなったり車両火災を起こす危険があります。

3

11 機能の設定

- 各機能はリモコンを使って設定を行います。
- 機能の設定はお客様に引き渡す前に、あらかじめお客様に確認の上で必要に応じて行ってください。
- 各機能の詳細及び設定手順は「便利な機能」及び「機能の設定」（17~24ページ）を参照してください。
- 設定により変更できる機能と工場出荷時の各機能の設定は以下の一覧表を参照してください。

機能	出荷時設定
アイドリング時間の設定	20分
ドアタイマーの設定	使用する
アフターアイドリングの設定	使用しない
車種の設定	ガソリン車

12 設定のリセット

- 各機能の設定をリセットして全て工場出荷時の設定に戻したい場合は、以下の手順で設定のリセットをしてください。

■「設定のリセット」手順

操作	送信音	リレーユニットのアンサーバック	備考
キースイッチ→「ON」			受付時間10秒以内
「START」	ピッ	ピーピーピー...	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ブブブ...	受付時間10秒以内
「START」&「STOP」	ピピピッ	ピロロロッ ピピー	設定のリセット完了
キースイッチ→「OFF」			

3

13 リレーユニットのブザー・アンサーバック表

番号	アンサーバック音	アンサーバック音が鳴る場合
1	ピロロロッ↑	リレーユニットに電源が入ったとき
2	ピッ	スタート・ストップ受け付け時（受信時）
3	ピーピーピー…	機能設定モード中 1
4	ブブ…	機能設定モード中 2
5	ピピー	初期設定完了時 各機能の設定完了時 スペアリモコンのID書き込み完了時
6	ブブー	各機能の設定完了時
7	ピー	アイドリング時間「10分」設定完了時
8	ピーピー	アイドリング時間「20分」設定完了時
9	ピーピーピー	アイドリング時間「30分」設定完了時
10	ブーブ	初期設定が行われていないとき フットブレーキを踏んだとき、または踏まれているとき
11	ブブ	運転席ドアが開いたとき、または開いているとき ドアタイマー終了時
12	ブブブ	ポンネットが開いたとき、または開いているとき
13	ブブー	エンジン始動時にIG電圧が低いとき（9V以下） オート検出モードで始動後のIG検出電圧低下時
14	ブブーブ	エンジン始動前に始動検出電圧が既に上がっているとき 始動検出モードで始動後の始動検出電圧低下時
15	ピビピー↑	オート検出モードによる始動成功時
16	ピビピーピー↑	始動検出モードによる始動成功時
17	ピロピロ↓	アイドリングタイマー終了してエンジン停止時
18	ピッピッピッ…	ドアタイマー／アフターアイドリングのカウント中
19	ピビピビッ…	ドアタイマー／アフターアイドリング終了5秒前から
20	ピロロロッピピー↑	設定のリセット完了時
21	ブーブ	キーの認証失敗時
22	ピーッ ピーッ …	ローリングコードエラー時

○印は、エンジンが始動しないとき、またはエンジンが停止したとき（アイドリング終了時）に発音します。

4 電池交換について

電池の交換時期について

「START」操作をしてリモコンがアンサーバック表示をした後、電池の消耗をお知らせするブザー音が「ブッブッブッブッ」と4回鳴る場合は、電池が消耗してきてるので早めに新しい電池と交換してください。（※1）

電池寿命の目安

約1年間（1シーズン）の使用を目安に定期的な電池交換をおすすめします。（※2）

使用電池（CR2450×1個）

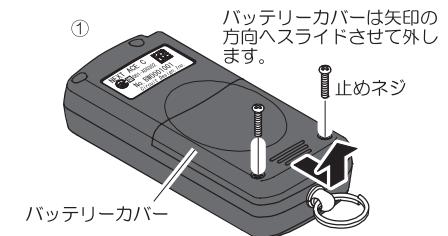
※1 電池は消耗していくと特に低温時に性能が低下してきます。このため極低温の環境でリモコンを使用した場合、電池消耗をお知らせせずに作動しなくなることがあります。

※2 電池寿命は使用する環境、条件によって異なります。なお、工場出荷時にリモコンに装着されている電池はモニター用のため記載より短い期間で消耗する場合がありますのでご了承ください。

電池（CR2450）はトヨタの販売店（トヨタディーラー）、家電量販店等でご購入いただけます。

電池交換のしかた

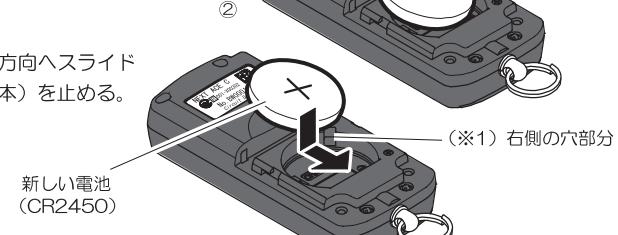
- 1 リモコン裏側のカバー止めネジ（2本）を外し、バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り外す。



- 2 古い電池を取り外し、+側が上になるように新しい電池（CR2450×1個）と交換する。

※1 電池が外れないときは、ケース右側の穴へつまようじ等を差し込み、電池を浮かせてから取り外してください。

- 3 バッテリーカバーを矢印の方向へスライドさせて取り付け、ネジ（2本）を止める。



注意

- ネジの取り外しと固定には必ず精密ドライバー（+）を使用してください。
- バッテリーカバーは隙間の無いように取り付けして確実にネジを止めてください。バッテリーカバーの取り付けが不完全な場合はリモコン内部に水が入りやすくなり故障の原因となります。



5 主な仕様

■リモコン

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	15mW 以下
アンテナ	2段ロッド
スイッチ	START / STOP / LOCK / UNLOCK
送受信確認	ブザー&LED
電池消耗確認	ブザー
使用電池	リチウム電池 CR2450×1個
防水対応	JIS 保護等級IPX2相当
動作温度範囲	-10°C～+60°C
寸法	76mm×35mm×18mm（突起部含まず）
重量	47g（電池含む）

■リレーユニット

送信周波数	920MHz帯（特定小電力無線機器）
送信出力	20mw 以下
電源電圧	DC9～16V（12V車専用）
消費電流	10mA（待受時平均値）
動作確認	ブザーにより車両側の動作状態を発音
動作温度範囲	-30°C～+70°C
寸法	125mm×57mm×25mm（突起部含まず）
重量	106g

■アンテナユニット

方式・取付方法	ダッシュボードサイド取り付けタイプ
使用温度範囲	-30°C～+80°C
寸法	70mm×24mm×12.5mm（エレメント含まず）
重量	45g（ケーブルを含む）
ケーブル長さ	1500mm

※仕様及び外観は、改良のため予告無く変更することがあります。

6 スペアリモコンについて

●リモコンを紛失または破損した場合（修理が不可能な場合）は有償でスペアリモコンを作成することができます。保証書またはリレーユニットのシリアルナンバーを確認の上、販売店または取扱店へ注文してください。

●スペアリモコンのID書き込みと動作確認手順

操作	送信音	リレーユニットのブザー音	備考
車両のIG電源「ON」			受付時間10秒以内
「START」と「STOP」	ピピピッ	ピロッ	受付時間10秒以内
「STOP」	ピピッ	ピピー	ID書き完了
車両のIG電源「OFF」			
「START」	ピッ	(エンジン始動)	

●書込み完了しても「START」操作でエンジンが始動しない場合は登録ができていません。最初からやり直してください。

●スペアリモコンのID書き込みが完了すると今までのリモコンは使えなくなります。またリモコンを2個以上注文されても1台の車両に対して使用できるのは1台のリモコンのみです。

●リレーユニットを取り外した場合は38ページの「初期設定」を行い、42ページの「リレーユニットの取り付け」と「取り付け後の配線処理」に従って取り付けを行ってください。

保証規定

本製品は厳重な品質管理のもとに製造され検査に合格し出荷されておりますが、お客様の正常な状態でのご使用中、万一故障が発生した場合には、本保証書の記載内容に基づき無償修理をさせていただきます。

1. 保証の期間内において、本製品を取扱説明に従った正常な使い方で故障が発生した場合は、お買い上げの販売店を窓口として無償にて修理いたします。
2. 保証の期間はお買い上げの日より36カ月（3年間）とします。
3. 保証期間内であっても下記に該当する場合は保証の対象にはなりません。
 - A) お客様による取り扱い時の落下、衝撃、またはお客様の取り扱いが適切でないために生じた故障、損傷。
 - B) 当社の技術者以外の方が修理・分解・調整・改造等をされたもの。
 - C) 電池の液漏れによる故障、損傷。
 - D) 火災、地震、台風等の天変地異や、その他不可抗力による故障、損傷。
 - E) 保証書の無い場合、またはご提示の無い場合。
 - F) 保証書に規定の記載及び店印の無い場合。
4. 消耗部品（電池、アンテナ等）やリモコンのケース破損は保証対象外です。
5. 修理によって生じた交換部品は原則としてお返しいたしません。
6. 本保証書は再発行いたしません。紛失しないよう、大切に保管してください。
7. 保証期間内に修理を依頼する際は、製品に本保証書を添付の上、お買い上げの販売店にご用命ください。
8. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in JAPAN.

※本保証書は、本書に明示した期間と条件のもとに無償修理をお約束するものであり、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
なお、保証期間経過後の修理についてはお買い上げの販売店までお問い合わせください。